

令和 4 年度定時会員総会 議案

【第 1 号議案】

令和 4 年度
事業報告（報告事項）
損益計算書〈正味財産増減計算書〉、
貸借対照表、財産目録（承認事項）
監査報告書（報告事項）
自令和 4 年 1 月 1 日 至 令和 4 年 12 月 31 日

【第 2 号議案】

令和 5 年度
事業計画、収支予算書（報告事項）
自令和 5 年 1 月 1 日 至 令和 5 年 12 月 31 日

※注記 1：本書は「会員（社員）総会参考書類」を兼ねています。

※注記 2：「令和 4 年度定時会員総会招集通知」が裏表紙にあります。

※注記 3

①会員総会出席者は原則として「議決権行使書と議案（本書）」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使してください。

②新型コロナウイルス感染防止の為、出席者はマスクの着用など十分な感染対策をお願いします。オミクロン株の市中感染では無症状の方が、他に感染させています。体調の優れない方、発熱している方、ワクチン未接種など新型コロナウイルス感染に少しでも危惧のある方は出席をご遠慮ください。

③新型コロナウイルス感染防止の為、極力「事前の議決権行使」をお願いします。招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）に印刷された【事前議決権行使】欄に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法でなるべくお早めに北海道倶楽部宛に送付して下さい。

令和 5 年 3 月 7 日
公益社団法人北海道倶楽部

令和 4 年度定時会員総会 議案

【第 1 号議案】（●報告事項及び●承認事項）

令和 4 年度 事業報告、 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録 監査報告書

自令和 4 年 1 月 1 日 至 令和 4 年 1 2 月 3 1 日

●報告事項

「令和 4 年度庶務事項報告（総会、理事会報告）」 . . . 1 ページ

「令和 4 年度事業報告」 10 ページ

「令和 4 年度 会員異動状況」 15 ページ

●承認事項

「損益計算書（正味財産増減計算書）」 16 ページ

「貸借対照表」 17 ページ

「財産目録」 18 ページ

「キャッシュフロー計算書」 19 ページ

「計算書類に対する注記，附属明細書」 20 ページ

●報告事項

「監査報告書」 21 ページ

【第 2 号議案】（●報告事項）

令和 5 年度 事業計画、収支予算書

自令和 5 年 1 月 1 日 至 令和 5 年 1 2 月 3 1 日

●報告事項

「令和 5 年度事業計画書」 22 ページ

「令和 5 年度収支予算書」 25 ページ

令和4年度庶務事項報告（総会、理事会報告）

（諸会議報告の要旨である。省略した事項、別紙等は正規の議事録に記載されている。）
令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

種 別	概 要
1. 総会 令和3年度定時会員総会 3月9日	第1号議案「令和3年度 事業報告（報告事項）、損益計算書〈正味財産増減計算書〉・貸借対照表・財産目録（承認事項）」の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配付資料の確認の後、資料の1～19頁に基づき説明した。 議長は鐵川照夫監事に監事を代表して監査報告を求めた。 監事は「令和3年度の事業・会計報告につき諸資料、帳票、帳簿などを詳細に調査した結果、適法かつ適正である」、「理事の職務遂行についても適法かつ適正である」と監事を代表して報告した。 この議案につき質問、意見を求めたが、全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。 第2号議案「令和4年度 事業計画、収支予算書（報告事項）」承認の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配布資料21～24頁に基づき説明した。 議長はこの議案につき質問、意見を求めた。全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。 第3号議案「理事及び監事選任（選任決議事項）」の件 議長は事務局長に説明を求めた。 議長はこの議案につき質問、意見を求めた。全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。 最後に、議長から全般にわたり発言を募った。（詳細は省略） 以上により本日の全議案は原案のとおり決議され、審議は終了したので、午後1時30分過ぎ、議長は令和3年度定時会員総会の終了を告げた。 （於 永田町ほっかいどうスクエア2階会議室）
2. 理事会（評議員会） 2月17日 ・書面による理事会を除き、各理事会では、出席の代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告が行われている。 ・書面による理事会を除き、事務所での参加者を含め、WEB会議システム（Microsoft Teams）を利用し行う。出席	第1号議案 令和3年度事業報告及び決算等の承認の件（別冊「令和3年度定時会員総会 議案」参照） （1）事業報告書（2）事業報告書の附属書類（3）貸借対照表（4）損益計算書（正味財産増減計算書）（5）貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属書類（6）財産目録（7）監査報告書 第2号議案 内閣総理大臣宛「事業報告等に係る提出書」提出について決議する件 第3号議案 令和3年度会員総会に係る件（定款第29条第1項第1号の事項） （別冊の「令和3年度定時会員総会 議案」、「総会招集通知」につき承認をお願いします。） 第4号議案 役員辞任、委嘱の件 第5号議案 会費未納会員の会員資格喪失者、会員入退会、会員数ほかの件 （1）会費未納（3年以上）会員の会員資格喪失者について（定款第11条

種 別	概 要
者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり適時的確な意見表明が互いにできる仕組みを確認後に議案の審議に入る。	第 1 項第 1 号による資格喪失者の報告) (2) 会員の入会について (3) 会員の退会 (登録会員の登録・抹消を含む)、会員推移 第 6 号議案 その他 (1) 新年交礼会は新型コロナウイルス感染防止のため中止 (2) 令和 4 年度寄附のお願いの件 (3) 会費の請求について (4) 広報紙「北海道 "NOW"」(会報) 自治体紹介ページ 今後の掲載スケジュールについて (5) 令和 4 年北方領土返還要求全国大会は無観客で開催 (2 月 7 日、国立劇場) (6) 「ふるさと北海道応援フォーラム オンライン開催実施について 毎年後援名義を出していたが、今年も ZOOM による WEB セミナーで行われた。 配信日時：令和 4 年 2 月 10 日 (金) 13:00 ~ 14:40 (7) 4 月からの事務局業務について企画、会報制作ほかの業務委託契約終了後の対応について (8) 理事会・評議員会ほか予定 (北海道倶楽部事務所及び WEB 会議システム「Microsoft Teams」に於いて)
3 月 9 日 (臨時書面理事会)	第 1 号議案 総会で選任された理事の中から、会長 1 名、副会長若干名、理事長 1 名、副理事長若干名及び常務理事 1 名を定める件 (定款第 21 条第 2 項、第 29 条第 1 項第 4 号) 任期はそれぞれ令和 5 年度の定時会員総会 (令和 6 年 3 月開催予定) の終結時までとする。但し、再任を妨げない。選定された者は、それぞれその就任を承諾した。
4 月 28 日 (書面理事会) ・以降各書面理事会の日付は事務所押印等のため事務所から発送した時点を記載した。 ・各書面理事会の議事録には全部の押印等が終了し事務所に返送された日時を記入した。	第 1 号議案 役員辞任、委嘱の件 (1) 3 月 9 日令和 3 年度定時会員総会で再任 (重任) された理事と監事及び就任した監事については、就任承諾書を提出戴き、登記完了後、内閣府に届けた。 (2) 評議員、相談役、顧問及び参与などの、次期役員は、前役員を充てることを原則とし、別紙のとおり理事長に推薦し委嘱して頂く。役員増減の調整は理事長に一任する。 第 2 号議案 新型コロナウイルス対応と事業計画 (1) 今期計画されている対面を伴う公益事業は、広く評議員等で事前に検討し、内容や事業を行うか否かの最終判断は会長と理事長に一任したい。 (2) 事業の検討は評議員で事前検討やアンケートを行うこととする。 第 3 号議案 新入会員審査の件 第 4 号議案 その他 (報告承認事項) の件

種 別	概 要
	(1) 事務局の体制 (2) PMF の顧問就任承諾について 村上理事長が引き続きパシフィック・ミュージック・フェスティバルの顧問に再任。(令和4年4月1日から令和6年3月31日まで) (3) 寄附金の状況(令和4年4月25日現在) ① R4年予算 2,682,000 円 ② 応募 75 人、1,966,000 円 入金者数 56 人、入金実績 1,173,000 円 (4) キャンペーンの状況(令和4年4月25日現在) ① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 50 個・12,500 円/ 43,792 個・7,229,463 円 ② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 26 個・6,500 円/ 3,283 個・657,920 円 ③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 8 個・2,000 円/ 3,454 個・582,358 円 ④ ちぎれ千島に雲がとぶ CD の状況 本年度頒布数/同累計・金額 1 枚・1,000 円/ 482 枚・388,600 円 (5) 今後の予定ほか 講演会、北方領土対応、交流の夕べ、交流イベント、北方領土返還要求中央アピール行進の対応については評議員会・部会で検討する。新型コロナウイルスが影響するため、人の集まる事業は例年とは異なる対応が想定。 (6) 理事会等予定
6月16日 理事会(評議員会)	第1号議案 役員就任の件 別表のとおり各役員が就任を承諾された。 第2号議案 役員就任に伴う担当の件 第3号議案 特別講演会と交流の夕べ共催について(詳細は別紙) 理事会の承認を得られたら、直ちにご案内(HP掲載、郵送、会報で広報)開始する。 ・開催日時 8月4日18時～20時 ・開催の趣旨 ①現時点で考えられる十分な新型コロナ感染防止対策を取り入れ開催を企画する。公益事業活動と新型コロナ感染防止については、他の民間企業等の対応状況を確認し、公益法人の立場として極力リスクが無いように慎重に実施したい。 ②対面の2事業を合併し対面での感染機会を減少しリスクを減少させる。多人数での同時発声を避けるも、魅力度を上げるため阿部修平先生の講演会を企画するとともに、各人の発言機会を確保のため、近況報告や自己紹介の時間をとり出席者の満足度に対応する。 ・会場 銀座ライオンビル 6F 銀座クラシックホール ・参加人数 感染防止対策をし、着席定員最大56人に制限(7テーブル×8人/テーブル)

種 別	概 要
	東京都の要望（8 人／テーブル）は撤廃されたが会場の大きさでテーブル等は制約される。 ・参加者 理事・監事等役員、スタッフ（評議員会正副議長他、事務局）、特に認めた来賓以外の参加者は抽選で決定。 第 4 号議案 新入会員審査の件ほか（会員の入・退会、会員の推移） 第 5 号議案 令和 4 年版会員名簿の件 10 月発行を目指し、掲載内容の確認と発行の財源となる名簿広告の募集を開始する。コロナの影響で名簿広告の出稿をどの程度集められるか不明だが、編集、版下作成は内製化しているので赤字になることはないと思われる。 第 6 号議案 その他（報告承認事項）の件 (1) 寄附金の状況（令和 4 年 6 月 13 日現在） ① R3 年実績 85 人、2,702,000 円 R4 年予算 2,682,000 円 ② 応募 87 件、2,589,000 円、入金者数 86 人、入金実績 2,579,000 円 ③ 例年通り、会員外の寄付者は 1 年間賛助会員として、会報・各種案内を送る。イベント開催が行われる場合は高額寄附者へのイベントのご招待を行う。 (2) キャンペーンの状況（令和 4 年 6 月 13 日現在） ① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 94 個・23,000 円／ 43,886 個・7,252,463 円 ② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数／同累計・金額 74 個・18,000 円／ 3,331 個・669,420 円 ③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数／同累計・金額 8 個・2,000 円／ 3,454 個・582,358 円 ④ ちぎれ千島に雲がとぶ CD の状況 本年度頒布数／同累計・金額 1 枚・1,000 円／ 482 枚・388,600 円 (3) 今後の事業予定ほか（以下の具体的対応については、今後検討する） ① 北方領土 ビザなし交流 現下の状況では、「ビザなし交流」の再開は困難と思われる。 ② 交流イベントは 事業計画上では予定しているが、「特別講演会と交流の夕べ共催」の開催状況を踏まえて今後検討する事とする。 ③ 北方領土返還要求中央アピール行進 12 月 1 日開催の有無・詳細は不明。 ④ 情報紙「北海道 "NOW"」の 毎月の発行・配布、「北海道の市町村をご紹介」及び「北海道 "NOW" information」の掲載 8 月に掲載を予定していた斜里町より、昨今の状況を踏まえ、この度の掲載は見送りたい旨、申し出があった。 ⑤ 北海道情報ラックに北海道情報を配布（毎月） ⑥ 北方領土返還要求運動「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。「千島桜バッジ」の頒布を行う。北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」

種 別	概 要
	の頒布を行う。 (4) 理事会等予定 (北海道倶楽部事務所及び WEB 会議システム「Microsoft Teams」に於いて)
8月31日 (書面理事会)	第1号議案 役員辞任、委嘱の件 第2号議案 新入会員審査の件ほか(会員の入・退会、会員の推移) 第3号議案 対面型公益事業(「交流の夕べ」と「特別講演会」共同開催)実施の件 (1) 日時:8月4日18時～20時 場所:銀座ライオン クラシックホール 当日実参加者数47人 (2) 対面型公益事業を第7波のピークに近い時点ではあったが種々の感染防止対策の下で実施した。 ① 当日の接触を極力少なくするため、会費は事前振込、福引は事前抽選、配布物は事前に席に配布した。 ② 従来立食で100人超参加していた人数を着席で最大約半数の56人で抽選とし実施した。(実質無抽選) 当選者のキャンセルもあり当日実出席者は47人だった。 ③ 外部の窓等は全開とし暑さ対応の軽装での来場をお願いした。前半1時間を講演会、後半1時間を全参加者のショートスピーチとし、黙食をお願いした。 ④ 参加者は講演会の間もショートスピーチの時間でも通常より飲食をしている方が少なく見えた。コロナ感染に注意しマスクを外すことを極力避けた方が多かった。 第4号議案 対面型公益事業(「講演会」「交流イベント」「新年交礼会)」ほかの件 (1) 10月講演会の件 講演会について川村会長から「日立北大ラボ」のご推薦を頂いた。「チャレンジフィールド北海道のご紹介」を2021/11と2022/08の北海道"NOW"の広報ページで取り上げた。日立北大ラボの活動をご紹介頂く講演会を企画部会で検討したい。なお、評議員会理事会合同会議出席者が参加し易いように評議員会理事会合同会議の後に講演会の開催をしたい。 (2) 10月交流イベント 令和4年度事業計画書で「新型コロナウイルスの影響により理事会で開催、中止について別途決議をした場合は変更する」と定めたことを踏まえ、10月には対面の「10月講演会」開催も行うことから「10月交流イベント」は中止する。 (3) 1月新年交礼会 1月時点の新型コロナウイルス感染状況は不明だが、現時点での想定のもと検討する。 ① 立食での開催は難しいと思われる。「交流の夕べ」の申込状況から、

種 別	概 要
	会費の額にもよるが、最大申込は着席で 50 人程度と思われる。「交流の夕べ」の申込受付形式については適用可能と思われる。(会費事前振込、申込後自己都合不参加の場合は会費はお支払い頂く) ② 着席での感染対策の対応に「交流の夕べ」と同じ「講演会」+「ショートスピーチ」形式を取るのは 1 月であれば可能と思われるが、忙しいと思われる講師の日程を 1 月に確定的に確保できるかが課題。 ③ 会場との協議が必要だが、ニューオータニでの開催であれば着席で 17 千円(料理原価 14 千円+飲物 1.5 千円+経費 1.5 千円+講師謝礼無償)程度と想定される。 ④ 日程、講師の人選、参加費の設定、会場選定と協議など事業部会での検討を始めたいと思う。新型コロナウイルス感染状況や今後の検討結果により再度理事会で実施もしくは中止の判断を頂きたい。 第 5 号議案 その他(報告、承認事項)の件 (1) 寄附金の状況(令和 4 年 8 月 25 日現在) ① R3 年実績 85 人、2,702,000 円 R4 年予算 2,682,000 円 ② 応募 89 人、2,629,000 円 入金者数 89 人、入金実績 2,629,000 円 (2) キャンペーンの状況(令和 4 年 8 月 25 日現在) 新型コロナウイルスの影響でバッジ等の頒布数が非常に少なくなっている。 ① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 98 個・24,000 円/ 43,890 個・7,253,468 円 ② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 80 個・19,500 円/ 3,337 個・670,920 円 ③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数/同累計・金額 8 個・2,000 円/ 3,454 個・582,358 円 ④ ちぎれ千島に雲がとぶ CD の状況 本年度頒布数/同累計・金額 1 枚・1,000 円/ 482 枚・388,600 円 (3) 今後の予定ほか 北方領土 ビザ無し交流ほか いまのところすべて中止との連絡を受けている。間瀬さん(評議員会議長・元北対協理事長)と対応を検討することとしたい。 (4) 理事会等予定
10月21日 理事会(評議員会)	第 1 号議案 交流イベント中止報告の件 10 月開催予定の「交流イベント」は 8 月 31 日の理事会決議で新型コロナウイルスの影響により中止とされ、会場の明治記念館のキャンセルを行った。令和 5 年の新年交礼会は令和 4 年の交流の夕べ同様の形式で実施する事を検討している。 第 2 号議案 倶楽部運営についてと令和 3 年 10 月理事会で評議員会に諮問、検討を求めた件について 令和 3 年理事会の諮問内容の再録諮問の再録(詳細は省略)については本

種 別	概 要
	日理事会・評議員会合同会議終了後、意見交換を行う。 第 3 号議案 新入会員審査、会員の状況の件 第 4 号議案 その他（報告承認事項）の件 (1) 令和 4 年会員名簿の完成 10 月 1 日発行、3 日発送した。広告収入は減少したが、冊子のページ数を少なくし、印刷費（外注費）を少なくした。版下作成は従来から内製化しているので外部支出は発生していない。 (2) 倶楽部の公益事業（行事） 講演会の開催 交流イベントは中止したが、感染リスクの少ない講演会（令和 4 年度第 2 回）を理事会・評議員会合同会議の後、開催する。 日時：10 月 21 日 15 時～16 時 場所：アイオス永田町会議室 演題：「北海道のために～日立北大ラボの活動について」 講師：吉野 正則 先生 (3) 「北海道の市町村のご紹介」の発行 北海道及び市町村の担当者と打合せ中。昨年同様 WEB で発行する。 (4) 申請していた内閣総理大臣岸田文雄「税額控除に係る証明書」（令和 4 年 9 月 26 日発行）有効期間 令和 4 年 10 月 11 日から令和 9 年 10 月 10 日までが発行された。（別紙参照） (5) 寄附金の状況（令和 4 年 10 月 18 日現在） 応募 91 人、2,659,000 円 入金者数 90 人、入金実績 2,639,000 円 (6) キャンペーンの状況（令和 4 年 10 月 18 日現在） ① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 104 個・25,500 円／ 43,896 個・7,254,963 円 ② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数／同累計・金額 114 個・27,500 円／ 3,371 個・678,920 円 ③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数／同累計・金額 8 個・2,000 円／ 3,454 個・582,358 円 ④ ちぎれ千島に雲がとぶ CD の状況 本年度頒布数／同累計・金額 1 枚・1,000 円／ 482 枚・386,600 円 (7) 北方領土返還要求中央アピール行進（12/1） 1 市 4 町で構成する北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会が主催する「北方領土返還要求中央アピール行進」を 3 年ぶりで開催予定。過去 2 年間は新型コロナウイルスの影響で中止していた。 (8) 令和 5 年新年交礼会の件 前回の交流の夕べ方式で、着席により講演会 + ショートスピーチ形式での開催を計画中。2022 年 12 月末申込締切で申込者から会費徴収（不参加でも会費徴収）。物価上昇により、ニューオータニで行うと参加費 16 ～ 18 千円／人必要。講師、会場、開催日程の検討中。 (9) 来年度の事業計画提出

種 別	概 要
	12 月末まで（令和 4 年を基に次回理事会で決定する。） （10） 理事会等予定 （北海道倶楽部事務所 2 階及び WEB 会議システム「Microsoft Teams」に於いて）
12 月 15 日 理事会（評議員会）	第 1 号議案 令和 5 年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みの件（別紙参照） 定款第 50 条の定めにより、毎事業年度開始前までに理事長が作成し、理事会の承認を得て翌事業年度開始前までに行政庁に提出し、会員総会に報告するとされています。以下の通りご承認下さい。（「第 1 号議案 別紙 令和 5 年度事業計画及び収支予算並びに資金調達設備投資の見込みの件」参照） （1） 事業計画書について 別紙（「別紙 令和 5 年度事業計画書」）の通り、令和 5 年度の事業計画を作成した。基本的に過去の事業計画書に準じ作成した。（但し、新型コロナウイルスの影響を考慮するとともに事業費を押さえることを念頭において、「新年交礼会」「交流の夕べ」及び「交流イベント」は十分な感染対策と事業費を縮減し実施することとしたい。新型コロナウイルスの影響で収支の悪化も懸念されるので、開催にあたって過去の前例にとらわれず、開催計画の検討をする。また各事業は新型コロナウイルスの影響により中止を含め種々の変更が想定される。 （2） 収支予算書について 令和 3 年度の仮決算（「別紙 令和 3 年度仮決算」）を踏まえ、令和 4 年度事業計画を遂行するため別紙（「別紙 令和 4 年度収支予算書」）の通り、令和 4 年度収支予算を作成した。 （3） 資金調達及び設備投資の見込み 別紙「資金調達及び設備投資の見込み」の通り。 第 2 号議案 令和 4 年度事業報告等の作成、総会日程の方針について （1） 令和 4 年度の「事業報告」等は前年に準じて作成し、その後監査を受け、2 月理事会で承認後直ちに「定時会員総会招集通知、議案」を発送し（総会の 2 週間前）、3 月の定時会員総会で報告・承認を得ることとする。 （2） 総会は日程調整の上、倶楽部 2 階の広い会議室を借用し、換気など新型コロナウイルスの感染対策を施し開催する。 第 3 号議案 講演会の開催及び参加について （1） 講演会の開催について 倶楽部の公益事業として感染リスクの少ない講演会を開催し、25 人が聴講した。（10 月理事会・評議員会合同会議の後開催） ① 日時：2022 年 10 月 21 日（金）15 時～16 時 ② 場所：アイオス永田町会議室（倶楽部事務所の 2 階） ③ 申込方法：先着順申込 広くどなたでも申し込める 参加費用は無料 ④ 演題：北海道のために～日立北大ラボの活動について

種 別	概 要
	⑤ 講師：吉野 正則先生（株）日立製作所 基礎研究センタ シニアプロジェクトマネージャー 北海道大学特任教授 産学・地域協働推進機構 社会・地域創発本部 本部長 (2) 「北方領土返還要求中央アピール行進」(12月1日)に参加 北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会の主催する行進に、川村会長、本間副理事長、間瀬評議員会議長、惣田評議員会副議長・企画部会長以下(総計6名)で参加した。(総参加者は全国から約500人)日比谷野外音楽堂から鍛冶橋まで約1.6キロをシュプレヒコールを行い行進した。(新型コロナウイルスのため中止していた。前回参加は2019年) 第4号議案 新入会員審査の件、会員数について 第5号議案 「北海道の市と町と村をご紹介」WEB版発行について 小冊子WEB版を12月1日付で発行し、倶楽部のHPに掲載する。2022年1年間に北海道"NOW"に掲載した21市町村を再度、北海道と各市町村の校正を経て完成した。予算がないので、本年もWEB版の発行となった。事務局内製化のため、費用は掛かっていない。 第6号議案 その他報告事項 (1) 寄附金の状況 ① 令和4年度予算 268.2万円 ② 12月13日現在実績 265.9万円、91人 ③ 令和5年度寄附金のお願い・募集発送は3月開始の予定。 ④ 税額控除の適用となる。 (2) 会費の入金状況 ① 令和4年度予算676万円(内訳 正会員199万円 維持会員477万円) ② 12月13日現在実績 656.5万円(内訳 正会員194.5万円 維持会員462万円) ③ 令和5年度会費(1月～12月分)の請求は4月の予定。 (3) ブラウンリボンバッジの状況 本年度(12/13現在)192個、累計43,984個 (4) 千島桜バッジの状況 本年度(12/13現在)122個、累計3,379個 (5) 北海道新幹線バッジの状況 本年度(12/13現在)8個、累計3,454個 (6) ちぎれ千島に雲がとぶ(CD)の状況 本年度(12/13現在)1枚 累計482枚 (7) 令和5年新年交礼会開催予定(2020年1月以来の開催です。) 令和5年1月27日(金)18時 ホテルニューオータニ 麗の間 新型コロナウイルスの感染対策のため着席での食事提供となる。 (8) 理事会・評議員会・定時会員総会等の予定 (北海道倶楽部事務所及びWEB会議システム「Microsoft Teams」に於いて)

種 別	概 要
1. キャンペーン推進のための事業 (1) 新年交礼会 1 月中止	【新型コロナウイルス感染の影響により中止とした】 例年1月にホテルニューオータニで開催していた新年交礼会は新型コロナウイルスの影響の為に中止とした。
(2) 令和4年北方領土返還要求全国大会オンライン参加 2 月 7 日	「北方領土の日」の2月7日、北方領土返還要求全国大会が新型コロナウイルス感染防止のため、今年も無観客となり大会の様子はオンラインで配信された。大会にビデオメッセージを寄せた岸田文雄首相は倶楽部頒布のブラウンリボンバッジを付け登場「ロシアとの間で領土問題を解決し、平和条約を締結できるよう交渉を進めていく」と決意表明した。 北海道倶楽部も構成団体に名を連ねる実行委の主催。
(3) 交流の夕べ 8 月 4 日	北海道倶楽部主催の「交流の夕べ」が8月4日夜、東京・銀座で3年ぶりに対面で開いた。新型コロナウイルスリスク軽減のため、「特別講演会」と共同開催した。(写真及び会報記事(北海道"NOW"の紙面を抜粋。)参照) 東京都などの指導により参加者は倶楽部会員、会員以外の合わせて56人に絞り、着席形式で行った。 開会挨拶では、川村隆会長が倶楽部の役目について話した。その後、倶楽部会員の阿部修平さんによる講演(詳細は特別講演会参照)を行い、講演後は参加者によるショートスピーチで近況報告した。 「交流の夕べ」を対面で開催 阿部さん(会員)を講師に講演会も 交流の夕べであいさつする川村会長  倶楽部会員同士の親睦を深める、恒例の「交流の夕べ」がビヤールの日に当たる8月4日、東京・銀座の「銀座クラシックホール」でリアル開催された。同行事を対面で開いたのは3年ぶり。新型コロナウイルスリスク軽減のため、この日は「特別講演会」も併せて行われ、会員の阿部修平さん(スバークス・グループ社長)が、投資全般や米国での体験談などを披露した。 が重要だ」と強調。また、投資については「みんながハッピーにならないといけない。しっかりと投資はいい結果を呼ぶはずだ」など力を込めた。 阿部さんは札幌西高出身。北海道への愛着は強い。道内の現状を「低迷する日本経済のさらに後塵を拝している。公共事業の比率が小さく、民間投資が極めて少ない。もう一度みんなが知恵を出さなければ」と厳しく述べた。 会員らは食事をとりながら、途中で阿部さんが、今に絞って開催。川村隆会長は「環境や気候変動問題、サステナビリティに企業と連携し、道内出身者の親しむ機会を」とあいさつした。 この後、阿部さんが「投資と北海道」と題し講演。米国滞在中、世界三大投資家の一人から資金の運用を任された時のエピソードや、日本企業への注文、北海道への苦言などを熱い思いを込めて語った。 経緯を交え講演する阿部さん  講演後は、会員らがショートスピーチ。新型コロナウイルスが第7波入りし、感染が急拡大する中、「コロナに負けず頑張っている」など、それぞれ近況報告。久しぶりに顔を合わせた会員も多く、各テーブルで談笑の輪が広がった。 
(4) 交流イベント 10 月中止 (旧道産子の会)	【新型コロナウイルス感染の影響により中止とした】 例年10月に明治記念館で行われていた交流イベントは新型コロナウイルスの影響の為に中止とした。

種 別	概 要
(5) 北方領土返還要求中央アピール行進 参加 12月1日	根室管内5市町でつくる「北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会」(北隣協)の主催。1945年に当時の根室町長が領土返還を陳情したことにちなんだ「返還要求運動原点の日」の12月1日に、毎年開催しているが、新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となった。今回で15回目となった。根室管内出身者をはじめ、各都道府県の返還運動関係者ら約500人が、日比谷から鍛冶橋まで約1.6kmをデモ行進した。 北海道倶楽部からも川村隆会長、本間副理事長、間瀬評議員会議長、惣田評議員会副議長ら6人が参加した。 
2. キャンペーン (1) ふるさと納税・地域振興等キャンペーン	1) 北海道"NOW" (情報紙・会報) に自治体紹介 地域振興等キャンペーンに資するため、平成28年3月号から北海道と協議し1号あたり2自治体の紹介を掲載しているが、今年度は釧路総合振興局管内、オホーツク総合振興局管内の合計21市町村を順次掲載した。 2) 北海道"NOW" インフォメーションに掲載 地域振興等キャンペーンに資するため、北海道等が主催・共催・後援する事業を本年度は、下記の広報記事を掲載し広報した。 ・北方領土問題 ・北海道・北東北の縄文遺跡群 ・夕張市のふるさと納税 ・村上理事長が顧問を務めるパシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌公演 ・「Kitappo」(北海道商工会議所連合会) ・チャレンジフィールド北海道の取り組みについて(ノーステック財団) ・その他 3) 「北海道の市と町と村をご紹介 Vol.4」WEB版発行 今年度の1年間に北海道"NOW"に掲載した釧路総合振興局・オホーツク総合振興局エリア内の21市町村を再録し、地域振興等キャンペーンに資するた 

種 別	概 要
	め、小冊子 WEB 版（86 頁）として 12 月 1 日付で発行し、倶楽部の HP に掲載した。WEB ならではの便利な機能（しおり、リンク）も付加した。 4) 夕張市振興へ協力 8 月の「交流の夕べ」（本年度は「特別講演会と交流の夕べ共催」）で夕張振興を訴え、「夕張メロン」を参加者全員にお土産として提供し、夕張市の「ふるさと納税」のパンフレットを配布するなどの支援イベントを行った。
(2) 北方領土返還推進「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペーン	1) ブラウンリボンバッジについて 北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行し、それを後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠で、返還運動に関心を持つ方々の応援団を増やすためには、底辺を拡大し、その輪をさらに 広げることが必要である。そのために、「日常会話に登場する返還運動」へと転換する必要があり、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動をキャンペーン事業として推進するものである。 ブラウンリボンバッジ配布数等は下記の通りである。（配布開始 2010 年 1 月） 配布バッジ数累計 44,006 個（無料分を含む）（うち本年度配布 214 個） 収入総額 7,279,963 円（発注バッジ総数 43,588 個、発注総額 4,256,157 円） 2) 千島桜バッジについて 「シンボルの花」 北方領土返還要求運動の新たな展開を図るため、返還要求運動の統一的なシンボルとして、誰もが親しみやすく身近に感じる「花」を選び、北方領土啓発資材等に「花」をモチーフにしたイラストを使用して、北方領土問題の一層の啓発を図るとともに世論の結集に務めることを目的に広く道内から公募された。倶楽部は道からの呼びかけにより 2013 年 9 月 5 日より千島桜バッジの頒布を開始した。 千島桜バッジ配布数等は下記の通りである。（配布開始 2013 年 9 月） 配布バッジ数累計 3,399 個（無料分を含む）（うち本年度配布 142 個）

種 別	概 要
	収入総額 685,920 円（発注バッジ総数 4,000 個、発注総額 304,426 円） 3) 「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」の CD 配布 北方 4 島の思いを、故森繁久彌さんが作詞し歌った上記 CD を、北方領土返還運動に役立ててくださいという、次男の建さんのご厚意で有料配布している。（送料込み千円） 累計 482 枚、本年度 1 枚（無料分を含む） 累計収入金額 388,600 円 本年度収入金額 1,000 円
(3) 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン 	1) 北海道新幹線早期実現推進の意識を高めるための早期実現「新幹線」バッジを実費で頒布した。 2) 趣旨：北海道新幹線をより早期に実現するためには、「日常会話に登場する北海道新幹線早期実現推進運動」をする必要があり、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動を事業として推進するものである。 3) 早期実現「新幹線」バッジについて 絵柄で北海道と新幹線を、文字で北海道と新幹線への想いを表現した。25 mm サイズのピンバッジである。色は北海道新幹線のイメージ緑と、情熱・熱意を表す赤を配色した。北海道新幹線早期実現のため、話題の「きっかけ」グッズとなれば幸いである。交流事業、メディア事業などを活用し全国に配布した。バッジ配布数等は下記の通りである。（配布開始 2010 年 8 月） 配布バッジ数累計 3,454 個（無料分を含む）（うち本年度配布 8 個） 累計収入総額 582,358 円（発注バッジ総数 6,000 個、金額 675,675 円） （北海道新幹線（新青森－新函館北斗間）は、平成 28 年 3 月 26 日に開業。札幌延伸は平成 24 年 6 月工事実施計画が認可され、2030 年度末開業予定。）
3. キャンペーン推進のための調査研究事業 特別講演会	1) 「特別講演会と交流の夕べ」共催 8 月 4 日東京・銀座のライオン「銀座クラシックホール」で交流の夕べと併せ、倶楽部会員の阿部修平さん（スパークス・グループ株式会社 代表取締役社長）が「投資と北海道」と題して講演した。米国滞在時のエピソードや日本企業への注文、北海道への苦言などを参加者約 50 人の前で熱い思いを込めて語った。  

種 別	概 要
	2)「北海道のために～日立北大ラボの活動について 講師：吉野正則先生 北海道倶楽部主催の講演会（本年2回目）が10月21日、東京・永田町の「永田町ほっかいどうスクエア」で開かれ、日立北大ラボの吉野正則さん（北大特任教授）が講演した。吉野さんは、「環境に適応した新たな北海道を」「アグリツーリズムを展開することで、道内経済の振興に貢献できる」などと話した。 
4. キャンペーン推進のためのメディア事業 (1) 北海道情報紙「北海道"NOW"」の配布	北海道情報紙「北海道"NOW"」の配布 本年度もメディア事業は、北海道情報の北海道外への広報活動を志向した。第765号から第775号まで1000部印刷し発行（毎月1日、ただし2月1日号は休刊） 会員以外への配布もおこなった。（北海道情報ラック）HPにも掲載している。WEB版としてHP上に掲載することにより、会員外も自由に無料でアクセスでき、様々な読者層にアピールすることができる。
(2)「北海道の市と町と村をご紹介」	前掲2.(1)-3)の通りWEB版発行。
(3) 北海道情報ラック設置	11カ所（レストラン、店舗等）設置 北海道関連のパンフレット（「北海道"NOW"」の紹介頁の市町村などのもの）北海道情報紙「北海道"NOW"」などを毎月送付し、無償配布。
(4) 倶楽部ホームページ対応	1) 倶楽部の公益事業の対外的広報のため、内容の更新に務めた。イベント等の参加申込、終了報告、イベント中止の報告、リモートワークでの事務局体制の通知、その他報告事項など更新を行った。 2) 倶楽部HPに中止となったイベント（新年交礼会、交流イベント）の代替としての「特設ページ」の運用継続 新型コロナウイルスの影響のため例年対面で開催していた新年交礼会、交流イベントを中止した。これらの中止した事業を補完し、また対面型事業の再開に向けた準備のため評議員会、理事会の決定によりコロナ終息までこの特設HPを作成、運用している。
5. 協賛・後援名義の付与など	1)「公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会」村上理事長が顧問に就任中。 2) 北海道が推進する「北海道・ロシア地域間協力チーム」に参加中。（情報収集） 3) ほっかいどう応援団会議参加中。 以上

令和4年度 会員異動状況

(令和4年12月末現在)

		令和 3 年度 末	内 容			令和 4 年度 末
			増	減	差引	
単位						
維持 会 員	社数 (社)	111	0	6	△ 6	104
	口数 (口)	164	0	7	△ 7	157
	登録 会員 (名) 数	221	39	52	△ 13	208
正 会 員 数 (名) (名誉会員1名を含む)		138	2	20	△ 18	120
個人会員数 合 計 (名)		359	41	72	△ 31	328

損益計算書（正味財産増減計算書）

令和4年度損益計算書（正味財産増減計算書）

令和4年度 1月1日～12月31日

・会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第6条) ・給料手当、法定福利費、退職給付繰入額は従事割合(40%)により、法人会計に振り分けた。 ・通信費の内、電話及びインターネット費用等は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。 ・賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。 ・その他諸費用は個別部門に配賦したもの以外は40%を法人会計に振り分けた。				公益事業会計	法人会計	[T]公益・法人 総計(合計)	前年度決算 令和3年12 月31日	決算増減 (令和4年- 令和3年)
一般正味財産増減の部								
経常増減の部								
経常収益 (収入)	(1)経常収益 [収入]							
	受取会費							
	(入会金)	5,000	5,000	10,000	25,000	△15,000		
	(正会員会費収入)	975,000	975,000	1,950,000	2,025,000	△75,000		
	(維持会員会費収入)	2,310,000	2,310,000	4,620,000	5,070,000	△450,000		
	事業収入							
	(広告収入)	1,024,000	1,210,000	2,234,000	1,034,000	1,200,000		
	(交流、キャンペーン等収入)	469,762	212,806	682,568	50,374	632,194		
	受取寄附金(寄附・協賛金)	2,809,000	0	2,809,000	2,702,000	107,000		
	受取利息	0	58	58	62	△4		
	雑収入	1,573	0	1,573	63	1,510		
	経常収入計(収入高合計)	7,594,335	4,712,864	12,307,199	10,906,499	1,400,700		
経常費用 (事業費・管理費)	(2)経常費用[事業費・管理費]	事業費	管理費					
	給料手当	3,574,457	2,382,972	5,957,429	5,931,770	25,659		
	法定福利費	293,788	195,859	489,647	451,874	37,773		
	退職給付繰入額	45,000	30,000	75,000	75,000	0		
	外注費	2,773,900	376,200	3,150,100	2,690,700	459,400		
	荷造運賃	0	0	0		0		
	会議費	0	71,500	71,500	16,500	55,000		
	旅費交通費	2,900	1,910	4,810	140,850	△136,040		
	通信費	567,238	481,083	1,048,321	880,782	167,539		
	会合費	263,076	175,384	438,460		438,460		
	消耗品費	288,585	145,717	434,302	350,656	83,646		
	修繕費	30,591	20,394	50,985	0	50,985		
	新聞図書費	113,700	0	113,700	112,122	1,578		
	賃借料	85,277	56,852	142,129	130,443	11,686		
	雑費	210,129	86,739	296,868	196,557	100,311		
	経常費用計(事業費・管理費計)	8,248,641	4,024,610	12,273,251	10,977,254	1,295,997		
当期経常増減額(事業損益金額)				△654,306	688,254	33,948	△70,755	104,703
当期一般正味財産増減額(当期純損益金額)				△654,306	688,254	33,948	△70,755	104,703
※一般正味財産期首残高				※	5,500,765	5,571,520	△70,755	
一般正味財産期末残高					5,534,713	5,500,765	33,948	
正味財産期末残高					5,534,713	5,500,765	33,948	

※令和3年度決算の期末残高

貸借対照表

貸 借 対 照 表

(令和4年12月31日)

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金・預金	6,321,513	5,884,937	436,576
貯蔵品	50,638	37,697	12,941
キャンペーン品	715,383	747,635	△32,252
未収入金	108,000	0	108,000
仮払金	70,123	0	70,123
流動資産合計	7,265,657	6,670,269	595,388
2. 固 定 資 産			
什器備品	3,000	3,000	0
電話加入権	1	1	0
固定資産合計	3,001	3,001	0
資 産 合 計	7,268,658	6,673,270	595,388
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金	76,891	58,493	18,398
仮受金	471,054	3,012	468,042
流動負債合計	547,945	61,505	486,440
2. 固 定 負 債			
退職給与引当金	1,186,000	1,111,000	75,000
固定負債合計	1,186,000	1,111,000	75,000
負 債 合 計	1,733,945	1,172,505	561,440
III 正 味 財 産 の 部			
一般正味財産 (正味財産期末残高)	5,534,713	5,500,765	33,948
正 味 財 産 合 計	5,534,713	5,500,765	33,948
負債および正味財産合計	7,268,658	6,673,270	595,388

◎ 附属明細書は、注記に記載した。若しくは明細項目（引当金等明細）が無いため、作成しない。

財産目録

財 産 目 録 （令和4年12月31日）

(単位円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	当年度	前年度	増減	
(流 動 資 産)						
現 金 ・ 預 金		運転資金として	6,321,513	5,884,937	436,576	
現金	現金手元有高		0	0	0	
預金	普通預金 みずほ銀行町村会館出張所 1		4,061,817	466,831	3,594,986	
預金	普通預金 北洋銀行東京支店		1,161,527	4,649,496	△3,487,969	
預金	普通預金 北海道銀行東京支店		447,918	448,462	△544	
預金	定期預金 北洋銀行東京支店		200,000	200,000	0	
預金	定期預金 北海道銀行東京支店		100,000	100,000	0	
貯金	郵便振替預金		350,251	20,148	330,103	
貯 蔵 品 計		在庫として	50,638	37,697	12,941	
切手	事務所保管		30,082	24,833	5,249	バッジ対価の使用待ち切手
はがき	事務所保管		11,466	11,214	252	
レターパック	事務所保管		9,090	1,650	7,440	バッジほか送付用
キ ャ ン ペ ー ン 品 計		在庫として	715,383	747,635	△32,252	キャンペーン用バッジ等の在庫
ブラウンリボンバッジ	事務所保管		283,678	303,038	△19,360	
千島桜バッジ	事務所保管		48,802	60,142	△11,340	
CD	事務所保管		86,360	87,040	△680	
新幹線バッジ	事務所保管		296,543	297,415	△872	
未 収 入 金			108,000	0	108,000	会報広告料 1 件ほか
仮 払 金			70,123	0	70,123	新年交礼会 案内郵送
流 動 資 産 合 計			7,265,657	6,670,269	595,388	
(固 定 資 産)						
什 器 備 品 計			3,000	3,000	0	
絵画 西村計雄 「ハイデルベルグ 63」	事務所保管（会議室展示）		1,000	1,000	0	
絵画 西村貴久子「流水」	事務所保管（会議室展示）		1,000	1,000	0	
絵画 岩船修三「白鳥」	事務所保管（会議室展示）		1,000	1,000	0	
電 話 加 入 権		備忘価額	1	1	0	備忘価額
固 定 資 産 合 計			3,001	3,001	0	
資 産 合 計			7,268,658	6,673,270	595,388	
(流 動 負 債)						
未 払 金			76,891	58,493	18,398	後納郵便代ほか
仮 受 金 計			471,054	3,012	468,042	新年交礼会会費仮受ほか
内 雇用保険			6,054	3,012	3,042	
流 動 負 債 合 計			547,945	61,505	486,440	
(固 定 負 債)						
退 職 給 付 引 当 金		従業員退職引当	1,186,000	1,111,000	75,000	
固 定 負 債 合 計			1,186,000	1,111,000	75,000	
負 債 合 計			1,733,945	1,172,505	561,440	
正 味 財 産 合 計			5,534,713	5,500,765	33,948	
負債および正味財産合計			7,268,658	6,673,270	595,388	

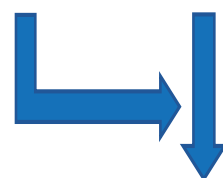
◎ 附属明細書は、注記に記載した。若しくは明細項目（引当金等明細）が無い場合、作成しない。

キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書(間接法) (令和4年12月31日) (単位円)
1月1日~12月31日

加算減算項目	計算項目	同左 加算減算
当期純損益金額 (当期正味財産増減額)	33,948	33,948
貯蔵品(増減)	12,941	△ 12,941
キャンペーン品(増減)	△ 32,252	32,252
未収入金(増減)	108,000	△ 108,000
仮払金 (増減)	70,123	△ 70,123
固定資産 (増減)	0	0
未払金 (増減)	18,398	18,398
仮受金 (増減)	468,042	468,042
退職給与引当金(増減)	75,000	75,000
	キャッシュフロー	436,576

科 目	当年度	前年度
現金・預金	6,321,513	5,884,937



増減
436,576

計算書類に対する注記, 附属明細書

計算書類に対する注記、附属明細書

1 重要な会計方針ほか

- (1) 公益事業会計と法人会計（管理費用）に区分し損益計算書（正味財産増減計算書）を作成した。
会費収入は、原則公益事業会計に配賦した。ただし、その50%を法人会計に配賦した。
(会費規程第6条適用) 公益社団法人北海道倶楽部会費規程 (会費の使途)
第6条 原則として、入会金及び年会費は公益目的事業に係る収益とするが、入会金及び年会費の総額の50%を限度に管理業務に必要な費用の額として管理業務に係る収益に充当する事が出来る。
- (2) イベントの交流、キャンペーン等収入は当該イベント事業費支出の公益事業会計と法人会計の支出割合で配賦した。
- (3) 寄附金は公益事業会計に配賦した。
- (4) イベント会場に支払う飲食・会場費は60%を公益事業会計に配賦し、会場に持込使用する酒類、土産類は法人会計に計上した。
- (5) 通信費の内、電話、FAX及びインターネット費用は使用割合により、公益事業会計に配賦した。他は個別に配賦した。
- (6) 下記の通り、上記配賦基準により公益事業会計と法人会計に配賦した。

科目	総 額	公益事業会計配賦額	法人会計配賦額	配賦基準	公益事業会計配賦割合
入会金	10,000	5,000	5,000	公益収益割合	50%
正会員会費収入	1,950,000	975,000	975,000	公益収益割合	50%
維持会員会費収入	4,620,000	2,310,000	2,310,000	公益収益割合	50%
広告収入	2,234,000	1,024,000	1,210,000		
北海道NOW 広告	1,024,000	1,024,000	0	個別配賦	100%
会員名簿広告	1,210,000	0	1,210,000	個別配賦	0%
交流、キャンペーン等収入	682,568	469,762	212,806		
交流、キャンペーン等収入 内 新年交礼会会費等収入	627,000	414,194	212,806	事業費支出割合	66.060%
交流、キャンペーン等収入 内 バッジ等収入	55,568	55,568	0	個別配賦	100%
寄付・協賛金	2,809,000	2,809,000	0	個別配賦	100%
受取利息	58	0	58	個別配賦	0%
雑収入	1,573	1,573	0	個別配賦	0%
合計	12,307,199	7,594,335	4,712,864		
給料手当	5,957,429	3,574,457	2,382,972	従事割合	60%
法定福利費	489,647	293,788	195,859	従事割合	60%
退職給付繰入額	75,000	45,000	30,000	従事割合	60%
外注費	3,150,100	2,773,900	376,200		
外注費 広報紙等メディア関連分	2,773,900	2,773,900	0	個別配賦	100%
外注費 総会議案印刷等	376,200	0	376,200	個別配賦	0%
何造運賃	0	0	0		
資料送付等運搬	0	0	0	個別配賦	100%
イベント土産等運搬	0	0	0	個別配賦	0%
会議費	71,500	0	71,500	個別配賦	0%
旅費交通費	4,810	2,900	1,910		
旅費交通費 公益事業分	2,900	2,900	0	個別配賦	100%
旅費交通費 理事会等法人会計対応分	1,910	0	1,910	個別配賦	0%
通信費	1,048,321	567,238	481,083		
通信費 公益事業分	448,825	448,825	0	個別配賦	100%
通信費 理事会等法人会計対応分	402,141	0	402,141	個別配賦	0%
通信費 電話、インターネット 公益・法人会計振分対応分	197,355	118,413	78,942	使用割合	60%
通信費 郵便 公益・法人会計振分50：50対応分	0	0	0	使用割合	50%
会合費	438,460	263,076	175,384		
会合費 法人会計対応分（手土産、酒類ほか）	0	0	0	個別配賦	0%
会合費 会場支払分等	438,460	263,076	175,384	対応の割合	60%
消耗品費	434,302	288,585	145,717		
消耗品費 公益事業分	81,325	81,325	0	個別配賦	100%
消耗品費 理事会等法人会計対応分	7,543	0	7,543	個別配賦	0%
消耗品費 公益・法人会計振分対応分	345,434	207,260	138,174	使用割合	60%
修繕費	50,985	30,591	20,394	使用割合	60%
新聞図書費	113,700	113,700	0	個別配賦	100%
賃借料（事務所使用料）	142,129	85,277	56,852	使用割合	60%
雑費	296,868	210,129	86,739		
雑費 公益事業分	137,395	137,395	0	個別配賦	100%
雑費 法人会計対応分	38,250	0	38,250	個別配賦	0%
雑費 公益・法人会計振分対応分	121,223	72,734	48,489	使用割合	60%
合計	12,273,251	8,248,641	4,024,610		

- (7) 退職給付繰入額（退職給与引当金）は要支給額の100%を計上している。
- (8) 資金の範囲は原則流動資産と流動負債とする。なお、前期末および当期末残高は、下記2. に記載するとおりである。

2 流動資産・流動負債と差額

科 目	当期末残高	前期末残高	期中増減
現金・預金	6,321,513	5,884,937	436,576
その他流動資産	944,144	785,332	158,812
流動資産合計	7,265,657	6,670,269	595,388
その他流動負債	547,945	61,505	486,440
流動負債合計	547,945	61,505	486,440
差 額	6,717,712	6,608,764	108,948
参考(固定資産・固定負債)			
固定資産	3,001	3,001	0
固定負債	1,186,000	1,111,000	75,000
差 額	△1,182,999	△1,107,999	△75,000
正味財産合計	5,534,713	5,500,765	33,948

3 公益社団法人北海道倶楽部 基本退職金引当管理表（附属明細書）

（就業規則第16条1項:勤務1年につき本俸月額給与の30%基本退職金を支給、月割り、1ヶ月未満の端数は1ヶ月）
退職給付繰入額 公益60% 法人40%で配賦

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員1名			
	250千円×30%	250千円×30%	250千円×30%
基準月額	250,000	250,000	250,000
引当額	75000	75000	75000
引落額	0	0	0
累計額	1,036,000	1,111,000	1,186,000

令和 5 年 2 月 16 日

公益社団法人北海道倶楽部

代表理事 理事長 村上 隆男殿

監査報告書

法令及び定款第 23 条に基づき、監事は理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

令和 4 年度の事業、会計報告につき、諸資料、帳票、帳簿を詳細に調査いたしましたところ適法かつ適正であることを認めます。

理事の職務の執行は適法かつ適正に行われており、職務の執行において不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

公益社団法人北海道倶楽部

監事 澤野 正明 ⑩

監事 鐵川 照夫 ⑩

令和 4 年度事業、会計報告につき、以上のとおり報告致します。

令和 5 年 3 月 7 日

公益社団法人 北海道倶楽部

代表理事 理事長 村上 隆男⑩

令和 5 年度事業計画書

令和 5 年 1 月 1 日から令和 5 年 12 月 31 日まで

種 別	概 要
令和 5 年度事業計画 1. 基本方針	・ 昨年に続き新型コロナウイルスの影響が終息するまで、適切な配慮のもと、定款に定められた公益事業の推進を着実に行う。 ・ 公益事業の推進にあたって、新型コロナウイルスの影響を考慮するとともに、終息後を見据え社会状況や公益事業へ対応する新しいスタイルを検討する。 (倶楽部事業、運営について理事会、評議員会後に検討会を開催し検討する。)
2. 管理分野の計画	・ 新型コロナウイルスの影響により減少した会費収入や寄附金の収入増を目指し、公益事業の財源確保と収支健全化を目指す。 ・ 引き続き、公益事業のため、会員増に取り組むと共に、組織・制度の検討を続ける。 ・ 当法人の諸活動に関し、定款、基本方針、コンプライアンス等の見地から随時検討、調整に務める。 ・ 理事会のリモート会議と対面での会議のハイブリッドな対応につとめ、評議員会、部会の活性化とともに会員参加型事業推進の定着に務める。 ・ 引き続き事務局業務のリモートワークに努める。
3. 公益事業の計画	・ 北海道等の行政組織やボランティア、企業、団体などとのタイアップによる公益事業活動の充実に務める。 ・ 昨年度の公益事業実施の成果と反省を今年度事業推進に活かす。 ・ 「北海道 NOW のインフォメーション」 頁などを活用し「企業、団体とのタイアップによる公益事業の推進体制」を研究する。 ・ 下記分野ごとに部会で随時具体的な公益事業を企画し推進する。
広報活動	(1) 北海道等のための広報活動 ・ 北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙年 11 回)を発行する。 ・ 引き続き、道内各自治体の紹介ページ(ふるさと納税なども紹介)を継続するとともに、増ページやさらなる拡充、HP 版の発行の為の業務を続ける。 ・ 北海道のため「インフォメーション」の頁などで北海道等(行政や各種団体)の広報を行う。(経済産業省の事業にも選択された「チャレンジフィールド北海道」に協力する。) ・ 「北海道 NOW」の会員配布、北海道情報ラックでの配布を行う。 ・ HP の活用や北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。 ・ 継続して「北海道の市と町と村」の本年度版の刊行(WEB)を目指す。
地域活性化事業支援	(2) 北海道等が主催・共催・後援する地域活性化事業の支援活動を行う。 ・ 「北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会(北海道と根室地域 1 市 4 町で構成)」、「NPO 法人 住んでみたい北海道推進会議」、「公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会」など、北海道等から依頼される地域視察、地域振興、イベント等に協力する。
北方領土返還運動	(3) 北方領土返還運動 ・ 北方領土返還要求運動「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。 ・ 北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。 ・ 北方領土返還森繁久弥作詞・唄「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」CD の頒布を行う。 ・ 北方領土返還の広報活動を情報紙「北海道 NOW」や各種イベントで実施する。

種 別	概 要
	・内閣府（含む倶楽部）などが実行委員会を構成している「北方領土返還要求全国大会」（2月7日、北方領土の日）が開催される場合は参加する。（2021年は新型コロナウイルスの影響で中止） ・根室市等が主催し全国70団体余が参加する「北方領土返還要求中央アピール行進」（12月1日、銀座行進）が開催される場合は参加する。 ・北海道情報紙「北海道 NOW」（年11回）配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、交流イベントなど各種イベントや講演会などを通じて北方領土返還運動キャンペーンの広報活動を行う。
ふるさと納税	（4）北海道等へのふるさと納税等寄附の推進運動 ・本年度も広報活動・情報発信に活動の主体をおく。北海道情報紙「北海道 NOW」での道内自治体のふるさと納税の紹介、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、各種イベント他で北海道等へのふるさと納税等寄附の推進キャンペーン活動を行う。
新幹線早期実現	（5）北海道新幹線早期実現運動 ・北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。 ・北海道情報紙「北海道 NOW」発行、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、各種イベントで北海道新幹線早期実現運動のキャンペーン・広報活動を行う。
北海道情報紙 特別講演会の開催 外部イベント等への参加	（6）上記各号の実施・推進にあたっては、下記の手法・方策等を総合的に適用し推進する。（一部重複・再掲） ・北海道情報紙「北海道 NOW」（本紙年11回）を発行する。 ・北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。 ・倶楽部の事業に関連したテーマで特別講演会（WEB、対面など）を開催する。 ・北海道応援団会議に参加し協力する。
前年度事業との変更点等 ・新型コロナウイルスの影響による事業計画の変更 ・終息後の社会状況や公益事業への対応 （新型コロナウイルスや財源の状況の変化で理事会で今後別途決議した場合は変更する。）	（1）北海道倶楽部が主催していた飲食を伴う対面型イベントの開催キャンペーン（北方領土返還・ふるさと納税・新幹線早期実現）をテーマに「新年交礼会」夏に「交流の夕べ」秋に「交流イベント」を開催してきたが、本年は以下の通りとする。 （但し、新型コロナウイルスの影響により理事会で開催、中止について別途決議した場合は変更する。） ・「新年交礼会」は新型コロナウイルスの影響を考慮し着席により開催する。 ・8月の「交流の夕べ」、10月の「交流イベント」は高齢者が多いので新型コロナウイルス感染状況や事業運営への対応を充分行った上今後の感染状況を見定めて着席か立食か選択の上開催する。 （2） 他が主催する各種イベント等が実施された場合は適宜検討のうえ、参加、後援する。
4. 新型コロナウイルスの終息後の対応他	・新型コロナウイルスの終息後の倶楽部の事業の再構築を継続して検討する。 ・会員数の増強、寄附金増の方策、中断した対面型イベントに対する対応など。 ・新型コロナウイルスの影響で中止した対面形式の公益事業の代わりに役割を期して作成したHP【「特設ページ」 コロナ禍での交流と対面型キャンペーン事業の再開に向けて】は本年度もしばらく設置する。

種 別	概 要	予定時期
別表 公益事業計画 時期別一覧表 ・ イベント・講演会等は HP などでは会員外、一般へ参加案内します。 ・ 部会対応 事業内容の詳細は担当の部会で今後検討し実施します。 ・ 新型コロナウイルスや財源の状況の変化で理事会で今後別途決議した場合は変更します。	新年交礼会（着席で開催予定） 北方領土返還推進運動「ブラウリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペーン 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン 「ふるさと納税推進」キャンペーン 上記キャンペーン集会の年初スタート交流事業。	1 月 27 日
	「北方領土返還要求全国大会」（北方領土の日） 「北方領土返還要求中央アピール行進」	（例年開催時期） 2 月 7 日 12 月 1 日
	交流のタベ キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業。	（例年開催時期） 8 月 4 日
	交流イベント 「We Love Hokkaido」（旧道産子の会） キャンペーン、公益事業の広報。	（例年開催時期） 10 月予定
	講演会、シンポジウムの開催 新型コロナウイルスの収束後に対面型の開催を目指す。当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。会員間の交流にも役立てるが、当然一般も参加出来、無料とする。 （講演テーマ、行政との協調などにより公共性のあるものとし、HP などでも一般参加を呼びかける。）	未定（講師、会場等のスケジュールによる）
	キャンペーンバッジ頒布 ・ 北方領土返還要求運動の頒布を行う。 ・ 北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。 ・ 北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。	随時
	情報紙「北海道 "NOW"」の発行・配布 倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道 "NOW"」 本紙年 11 回）を発行する。前年配布の成果を踏まえ、配布先・配布方法、編集内容、発行体制を整備。一般配布（有料 月額 80 円）有り。 「北海道の市町村をご紹介」及び「北海道 "NOW" information」を引き続き本年も掲載する。	毎月
	WEB 版「北海道の市と町と村をご紹介」の発行 情報紙「北海道 "NOW"」に連載している 1 年分の 22 の市町村情報をまとめ小冊子形式にして発行する。 HP で一般の無料閲覧が可能。	12 月
	北海道情報ラックに北海道情報を配布 引き続き北海道関連情報を設置先情報ラックに無料配布する。	
	ホームページでの広報 倶楽部、公益事業の広報のため、内容の充実・更新に務める。 【特設ページ】 コロナ禍での交流と対面型キャンペーン事業の再開に向けての運用	毎月
	その他 ・ 倶楽部内交流の同好会の活動に協力。（独立運営・独立会計、北星会（ゴルフ））	随時

令和5年度収支予算書

・会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第6条) ・給料手当、法定福利費、退職給付繰入額は従事割合(40%)により、法人会計に振り分けた。個別部門の給料手当は各個別部門で負担した。 ・通信費の内、電話及びインターネット費用は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。 ・賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。 ・その他諸費用は個別部門に配賦したもの以外は40%を法人会計に振り分けた。		公益事業会計	法人会計	[T]公益・法人総計(合計)
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
経常収益(収入)	(1)経常収益 [収入]			
	受取会費			
	(入会金)	5,000	5,000	10,000
	(正会員会費収入)	832,500	832,500	1,665,000
	(維持会員会費収入)	2,145,000	2,145,000	4,290,000
	事業収入			
	(広告収入)	1,224,000	0	1,224,000
	(交流、キャンペーン等収入)	3,662,195	1,637,269	5,299,464
	受取寄付金(寄附・協賛金)	3,190,800	0	3,190,800
	受取利息	0	54	54
	雑収入	1,573	0	1,573
	経常収入計(収入高合計)	11,061,068	4,619,823	15,680,891
経常費用(事業費・管理費)	(2)経常費用[事業費・管理費]	事業費	管理費	
	給料手当	3,561,633	2,374,423	5,936,056
	法定福利費	284,248	189,499	473,747
	退職給付繰入額	45,000	30,000	75,000
	外注費	2,790,650	51,700	2,842,350
	荷造運賃	175,038	0	175,038
	会議費	23,328	71,500	94,828
	旅費交通費	11,570	1,910	13,480
	通信費	747,556	291,126	1,038,682
	会合費	2,340,600	1,560,400	3,901,000
	消耗品費	312,762	139,904	452,666
	修繕費	30,591	20,394	50,985
	新聞図書費	113,700	0	113,700
	賃借料	85,277	56,852	142,129
	雑費	604,935	84,870	689,805
	経常費用計(事業費・管理費計)	11,126,888	4,872,578	15,999,466
当期経常増減額(事業損益金額)		-65,820	-252,755	-318,575
当期一般正味財産増減額(当期純損益金額)		-65,820	-252,755	-318,575
※一般正味財産期首残高			※	5,428,264
一般正味財産期末残高				5,109,689
正味財産期末残高				5,109,689

※令和4年度仮決算の期末残高

公益社団法人北海道倶楽部

令和 4 年度定時会員総会招集通知

正会員、維持会員 各位

公益社団法人北海道倶楽部
代表理事 理事長 村上 隆男
公印省略

令和 4 年度定時会員総会を下記の通り行いますので、お忙しいところ恐縮ですがご参加下さい。
記

開催日時：令和 5 年 3 月 7 日 12 時 30 分より（約 1 時間の予定。**12 時 10 分開場**。昼食の用意はありません。）**開催場所：**

永田町ほっかいどうスクエア 2 階会議室（北海道倶楽部事務所の 2 階、貸会議室なので**開場前に入れません**。）
千代田区永田町 2-17-17、03-3581-4021（北海道倶楽部の電話番号）

議事に付すべき事項：

別紙「令和 4 年度定時会員総会 議案」の通り。

議決権行使会員：

会員総会の議決権を持つ会員は、「正会員」及び「維持会員」で、各 1 個の議決権を持っています。
（維持会員は、維持会員の議決権行使書を持参した者が議決権を行使することが出来ます。）

議決権行使方法について：（新型コロナウイルス感染防止のため是非下記「2. 議長に委任、3. 事前の議決権行使」をお願いします。）

議決権は、議決権を持つ「正会員」及び「維持会員」が下記の方法により行使して下さい。

1. 「会員総会出席による議決権行使」
2. 「委任による議決権行使」（無記入の場合は議長に委任したものとさせていただきます。）
3. 「事前の議決権行使」

いずれも、招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法でなるべくお早めに（総会開催前日まで）北海道倶楽部宛に送付して下さい。

会員総会の招集通知は北海道倶楽部に登録された会員（社員）の住所地に送付しています。招集通知に同封した、【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）の用紙（右欄参照）を使って倶楽部宛に送付されたご連絡は会員の真正な意思表示とさせていただきます。

1. 会員総会出席による議決権行使：

会員総会出席者は原則として「議決権行使書」と「議案（本書）」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

2. 委任による議決権行使：（定款第 18 条第 2 項）

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】に印刷された【委任による議決権行使】欄に記入の上、北海道倶楽部宛に送付する。（無記入の場合は議長に委任とさせていただきます。）

受任者は原則として「議決権行使書」と「議案（本書）」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

3. 事前の議決権行使：（定款第 18 条第 1 項）

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）に印刷された【事前議決権行使】欄に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法でなるべくお早めに（総会開催前日まで）北海道倶楽部宛に送付して下さい。

以上

公益社団法人北海道倶楽部（TEL:03-3581-4021）

郵送先：〒100-0014 東京都千代田区永田町 2 丁目 17-17

FAX 先：03-3581-4022

mail：hkhd-clb@soleil.ocn.ne.jp

なるべく FAX か mail でのご連絡をお願いします。

【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】

（はがき サンプル）

【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】

下記□にチェックを入れ至急送ってください。

コロナウイルスの感染対策のため出来ましたら出席をお避け下さい！

無記入での返信は議長に委任とします。

- ☐ 出席（議決権行使書と議案をご持参ください。）
☐ 欠席（1. 委任もしくは 2. 事前議決権行使）

【1. 委任による議決権行使】

（記入がない場合は議長とします）

- ☐ 議長に委任する。
☐ 議決権行使書持参者に委任する。

（委任しないで欠席される方）

【2. 事前議決権行使】

（“否”の場合のみ下記□内に×をご記入ください。）

第 1 号議案 ●承認事項

- ☐ 損益計算書（正味財産増減計算書）
☐ 貸借対照表 ☐ 財産目録
☐ キャッシュフロー計算書
☐ 計算書類に対する注記

令和 5 年 3 月 7 日（正会員・維持会員の ID、お名前、ご担当）

会員のお名前

（維持会員名、担当者名）

至急送付ください。3 月 6 日必着でお願いいたします。この葉書を「郵送」、「FAX」又は「スキャンしメールに添付」してください。

Mail：hkhd-clb@soleil.ocn.ne.jp Fax:03-3581-4022

NO. 1234